生産性向上支援訓練カリキュラム

D. データ活用	クエリを活用してデータ更新（追加・更新・削除）が出来る！
データベースソフト活用	Access基礎② 正式名：データベースを活用したデータ処理（応用編）

コースのねらい	業務の効率化を目指し、データベースソフトの機能であるデータ間の関係性を利用した処理や目的にあったデータの抽出・更新処理、ユーザの入出力画面の作成方法を習得する。

対 象	（全層向け） ・データ更新用のクエリを作成したい方 ・フォームの作り方を学びたい方

講義内容		「基本項目」	「主な内容」	訓練時間（H）
	1	リレーションシップと参照整合性	（1）リレーションシップ アクセスの特徴であるリレーションシップの概念、使用することのメリットについて学びます。 （2）参照整合性とは リレーションシップを設定する時に考慮すべき「参照整合性」「フィールドの連鎖更新」「レコードの連鎖削除」について学びます。 （3）リレーションシップ／参照整合性の設定 特定の条件を満たすレコードを抽出して新しいテーブルを作成するテーブル作成クエリを作成します。 （4）参照整合性の確認 データを変更、削除した後に関連付けられたテーブルのデータの確認します。	0.5 1.5
	2	クエリの活用	（1）複数テーブルからのクエリ作成 リレーションを組んだことにより作成できるクエリを学びます。 （2）アクションクエリ アクションクエリとは何かを学びます。 （3）更新クエリ 特定の条件に合致するレコードのフィールドをまとめて変更できる更新クエリを作成します。 （4）テーブル作成クエリ 特定の条件を満たすレコードを抽出して新しいテーブルを作成するテーブル作成クエリを作成します。 （5）削除クエリ 特定の条件に合致する複数のレコードを、まとめて削除できる削除クエリについて学びます。 （6）追加クエリ 特定の条件に合致する複数のレコードを、まとめて別のテーブルに追加できる追加クエリについて学びます。	0.5 1.5
	3	フォームの活用	（1）メインフォーム／サブフォーム 関連付けられたことによるテーブル、クエリ等から作成できるメインフォームとサブフォームを作成します。 （2）コントロールの種類 ラベル・テキストボックス・チェックボックス・コンボボックスの各コントロールについて学びます （3）フォームの編集 作成したフォームをレイアウトビュー・デザインビューで編集し、コンボボックスも作成します。 （4）入力しやすいフォームに タブストップとタブオーダーを設定し、より入力しやすいフォームに編集します。	2.0
	演 習	予め用意したデータベースで、各自リレーションシップの違いによってのデータ扱いの違いなどを確認。アクションクエリとフォームも実際に作成しながらの訓練になります。（リレーションシップの設定、参照整合性の違いを確認、複数テーブルからのクエリ作成、演算フィールドの作成、更新クエリの作成と実行、サブフォーム付きのフォーム作成、コンボボックスの作成、フォームの編集　など）		基本項目に含む
			合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント

リレーションを設定することにより複数のテーブルをつなぎます。同一項目の複数入力・入力ミスを軽減し、作業効率を目指します。誰もが入力しやすいフォームを作成します。

備考

・OS：Windows 10 or11
・アプリケーション：Microsoft Office 2019 or 365 Access